

# 令和8年度公営企業予算編成過程の公開

---

## 目 次

---

1	上下水道局令和8年度の予算編成について	……………	1 頁
2	交通局令和8年度の予算編成について	……………	5

令 和 8 年 1 月  
名 古 屋 市 上 下 水 道 局  
名 古 屋 市 交 通 局

# 1 上下水道局令和8年度の予算編成について

## (1) 基本的な考え方

料金収入は、水道料金、下水道使用料とも、令和7年10月分からの料金改定を実施し増収を見込んでおります。しかしながら、長期的にみると使用水量は減少傾向であり、今後もこの傾向は続くものと考えられます。また、資材価格や労務単価などの急激な高騰による費用の増加は、安定的な事業運営に非常に強い影響を及ぼしております。さらに、近年は金利も上昇傾向にあり、今後支払利息が増加し経営を圧迫していく懸念があります。

こうした状況においても、市民生活・社会経済活動を根底から支える上下水道事業の使命を果たすため、施設の老朽化対策や南海トラフ地震を見据えた地震対策、また、大雨に対する備えとしての浸水対策などを進めていく必要があります。

このように、上下水道事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続いているが、持続可能な上下水道システムの構築に向け、「名古屋市上下水道経営プラン2028（改定版）」に沿って、効率的かつ効果的な事業執行に努めつつ、将来を見据えた投資については、アセットマネジメントに基づき計画的かつ着実に行うことにより、信頼される名古屋の上下水道事業を維持向上してまいります。

## (2) 主要事業

### ①水道基幹施設の整備

浄水場や配水場などの水道基幹施設について、老朽化した施設の更新及び機能向上を計画的に進め、災害に対する安全性の向上を図ります。また、水源水質の急変など水源をめぐるリスクにも対応できるよう施設整備を行い、給水の安定性の確保を図ります。

### ②配水管の更新及び耐震化

老朽化した配水管について、計画的に更新及び耐震化を進めます。特に地震による配水管の被害を効果的に低減するため、南海トラフ地震の被害想定における液状化想定区域において被害が多いとされる配水管を重点的に更新し耐震化を進めます。

### ③下水道基幹施設の整備

水処理センター、ポンプ所及び汚泥処理場などの下水道基幹施設について、老朽化した施設の改築及び機能向上を計画的に進め、災害等の発生時においても機能が確保できるよう施設の強靭化に取り組みます。また、水処理センターを再構築するための取り組みを進めます。

#### ④下水管の改築及び耐震化

定期的に実施する下水管内調査の結果を踏まえ、老朽化した下水管の改築を計画的に進めます。また、地震発生時においても防災拠点等の下水道機能を維持するとともに、下水管の損傷に起因する陥没の発生による交通障害を防ぐため、指定避難所等と水処理センターを結ぶ下水管などの重要な下水管については、優先的に耐震化を進めます。

#### ⑤浸水対策

名古屋市総合排水計画に基づき、名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域などの重点地区において下水道施設の整備を進めるとともに、その他の地域においても、改築・更新にあわせて下水管や雨水ポンプの能力増強等を進めます。

#### ⑥水環境の向上

伊勢湾や河川の水環境を向上させるため、土地区画整理事業などと整合を図りながら下水道整備を進めるとともに、合流式下水道におけるさらなる水質浄化を進めます。堀川上中流部及び新堀川上流部においては、都心部のまちづくりに貢献するため、雨水幹線の整備や中区三の丸地区における分流化の整備などを進めます。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事 項 名	概 要	令和 7 年度 予定額	令和 8 年度 見積額
1	春日井浄水場凝集沈澱池の更新	水源水質の変化にも柔軟に対応できる横流式沈澱池に更新	1,611	1,782
2	鳴海配水場 2 号配水池の更新	耐震性の向上を図るため、鳴海配水場 2 号配水池を更新	889	898
3	液状化想定区域における配水管の耐震化	南海トラフ地震の被害想定における液状化想定区域において被害が多いとされる配水管を重点的に更新し耐震化	2,314	2,678
4 変 更	水道施設への LED 照明の導入	環境への配慮のため、中村ビル等の照明を LED 化	34	65

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事 項 名	概 要	令和 7 年度 予定額	令和 8 年度 見積額
5	水処理センターの再構築（中南部グループ）	山崎水処理センターの改築（堀留水処理センター及び熱田水処理センターの廃止を含む）及び污水送水管の整備	344	1,052
6	空見スラッジリサイクルセンター第 2 期焼却施設の整備	空見スラッジリサイクルセンターの第 2 期焼却施設及び関連施設を整備し、令和 8 年 10 月から稼働予定	3,392	5,078
7	柴田汚泥処理場焼却施設の改築	柴田汚泥処理場における 3 号汚泥焼却施設の部分改築及び 1 号汚泥焼却施設の改築	504	808
8	下水道基幹施設の停電対策	災害等による長時間停電時においても污水処理機能を確保するため宝神水処理センターなどの非常用発電設備を増強	848	982
9	堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化	堀川上中流部及び新堀川上流部における雨水幹線の整備や中区三の丸地区における分流化の整備等	880	370

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和7年度 予定額	令和8年度 見積額
10	全国特別重点調査における対策	下水道管路の全国特別重点調査の結果に基づく修繕	—	132
11	下水道施設へのLED照明の導入	環境への配慮のため、柴田汚泥処理場等の照明をLED化	45	209

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

## 2 交通局令和8年度の予算編成について

### (1) 基本的な考え方

市営交通事業は、市バス・地下鉄の一体的なネットワークにより、市内全域で交通サービスを提供し、令和6年度においては1日約157万のお客さまにご利用いただいており、市民生活、都市活動を支える重要な都市基盤としての役割を果たしています。

令和8年度は、名古屋市営交通事業経営計画2028の理念である安全・安心、快適・便利な交通サービスを提供するという変わらぬ使命を果たし、名古屋のまちの将来に貢献できるよう、事業環境が大きく変わる時代に適応しながら持続可能な経営を実現するため、以下に掲げる事項について、重点的に取り組んでまいります。

### (2) 主要事項

#### ①安全・安心の推進

お客様に安全に、安心して市バス・地下鉄をご利用いただけるよう、輸送の安全性の向上、災害対策やセキュリティの強化を図るとともに、施設などの計画的な維持管理を進めます。

#### ②快適性・利便性の高いサービスの提供

お客様の快適性・利便性を高めるため、施設のリニューアルや誰もが利用しやすい環境づくりを進めるとともに、お客様のニーズに対応したサービスの提供に取り組みます。

#### ③まちの将来に向けた行動

名古屋のまちの将来を見据え、交通事業者として、まちづくり等との連携や環境負荷の低減、子ども・子育てのサポートのために行動します。

#### ④持続可能な経営の確立

将来にわたって安定的に交通サービスを提供し続けるため、収入増加策の展開や事業運営の省力化・効率化などの経営改善に努めるとともに、人材の確保や職員力の向上を図ります。

## (3) 新規・拡充事項

(単位：百万円)

番号	事 項 名	概 要	令和 7年度 予定額	令和 8年度 見積額
1	バスドライブレコーダーの機能強化	ドライブレコーダーの映像を遠隔操作で確認し、非常時等に迅速に対応できるよう、クラウドシステムを導入	—	67
2	バス車両の更新	計画的なバス車両の更新 101両	2,909	2,716
3	鶴舞線可動式ホーム柵の整備	可動式ホーム柵の製造及び設置 順次稼働 平針駅・赤池駅	1,862	535
4	地下鉄車内カメラの設置	安全利用のため、地下鉄車内を撮影するカメラを設置 東山線54両（9編成） 名城・名港線30両（5編成）	24	43
5	地下鉄駅のリニューアル	駅の壁・床・天井・照明などのリニューアル 工事 7駅 設計 3駅	151	84
6	地下鉄駅構内トイレのリニューアル	全便器の洋式化をはじめとした改修 工事 11駅13箇所 設計 5駅5箇所	987	419
7	地下鉄駅エレベーターの整備	バリアフリールートの充実等を図るため、駅エレベーターの工事等を実施 工事 5駅 設計 2駅 調査 1駅	2,601	1,222
8	地下鉄駅ホームと車両の段差・隙間の改善	誰もが乗降しやすくなるよう、ホーム先端部のかさ上げ等を実施 名城・名港線 7駅 桜通線	488	699
9	地下鉄駅ホームの冷房化	駅ホームへの冷房設備の整備 工事 4駅 設計 1駅	324	178
10	授乳室の設置	お子さま連れで利用しやすい環境を目指し、授乳室を駅構内に設置 東山公園駅	—	4

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(単位：百万円)

番号	事 項 名	概 要	令和 7年度 予定額	令和 8年度 見積額
11	キャッシュレス化の推進	クレジットカードタッチ決済等の導入に向けた自動改札機の改修 クレジットカードタッチ決済 令和8年度導入 二次元コードを使用した乗車券 令和9年度導入予定	85	828
12	デジタルサイネージ広告の設置	東山線車内デジタルサイネージ広告を21編成から41編成へ拡大 名古屋駅複数面連動型デジタルサイネージ広告の増設	7	268
13	照明のLED化	バス停標識や駅構内等の照明を省エネ効果の高いLEDへ改修	1,505	1,841
14	定期券WEB予約サービスの導入	定期券購入の利便性向上を図るため、WEB予約サービスを導入	27	517
15	健康経営の導入	組織的に職員の健康増進を図るため、健康課題に基づいた推進計画を策定・推進	—	5
16	安定的な人材確保	計画的・安定的に職員を確保するため、採用選考の応募者数を増加させる取組みを実施	1	12
17	DXに向けた業務プロセスの最適化（BPR）	効果的なDX推進のため、業務プロセス最適化の取組みを実施	—	8
18 追加	地下鉄駅ホームへの乗車位置案内図の設置	アジア・アジアパラ競技大会に向けて、降車駅での乗換等の利便性向上のため、乗車位置案内図を地下鉄駅のホーム階に設置	—	10
19 追加	地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に向けた検討	地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に向けた条件等の検討を実施	—	25
20 追加	戦略的な利用促進策の展開	敬老バス利用者・観光客・市バスを利用していない若年層をターゲットとして絞り込んだ利用促進策を展開	54	43

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

## (4) 使用料・手数料改定等

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	実施時期	令和8年度影響額																																																
1 追加	貸切自動車運賃・料金の改定	<p>国の貸切自動車に係る公示運賃・料金見直しに伴う改定（条例改正予定） (現行)</p> <p>時間制運賃</p> <table> <tr><td>大型車</td><td>1 時間当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>9,750円</td></tr> <tr><td>中型車</td><td>1 時間当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>8,230円</td></tr> </table> <p>距離制運賃</p> <table> <tr><td>大型車</td><td>1 km当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>200円</td></tr> <tr><td>中型車</td><td>1 km当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>180円</td></tr> </table> <p>(改定後)</p> <p>時間制運賃</p> <table> <tr><td>大型車</td><td>1 時間当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>10,620円</td></tr> <tr><td>中型車</td><td>1 時間当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>8,960円</td></tr> </table> <p>距離制運賃</p> <table> <tr><td>大型車</td><td>1 km当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>220円</td></tr> <tr><td>中型車</td><td>1 km当たり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>190円</td></tr> </table> <p>など</p>	大型車	1 時間当たり				9,750円	中型車	1 時間当たり				8,230円	大型車	1 km当たり				200円	中型車	1 km当たり				180円	大型車	1 時間当たり				10,620円	中型車	1 時間当たり				8,960円	大型車	1 km当たり				220円	中型車	1 km当たり				190円	8年7月	9
大型車	1 時間当たり																																																			
		9,750円																																																		
中型車	1 時間当たり																																																			
		8,230円																																																		
大型車	1 km当たり																																																			
		200円																																																		
中型車	1 km当たり																																																			
		180円																																																		
大型車	1 時間当たり																																																			
		10,620円																																																		
中型車	1 時間当たり																																																			
		8,960円																																																		
大型車	1 km当たり																																																			
		220円																																																		
中型車	1 km当たり																																																			
		190円																																																		

※事項名、改定見込額等については今後変更になることがあります。

(各局お問い合わせ先)

担当局	担当課	電話番号
上下水道局	経理課	052-972-3724
交通局	財務課	052-972-3833